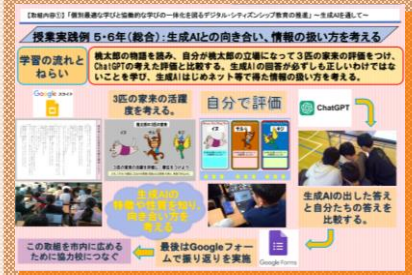
リーディングDXスクール事業　【実践事例】

吉川市立三輪野江小学校（埼玉県）

【取組内容①】「個別最適な学びと協働的な学びの一体化を図るデジタル・シティズンシップ教育の推進」～生成AIを通して～

ねらい

生成AIが発出する情報をそのまま鵜呑みにすることなく、自分や他者の考えを基に吟味し、検討していく姿勢や力を育てることをねらいとする。
その際に周知の物語や昨今話題となる性の多様性の問題などを素材にしてICT活用に対するデジタル・シティズンシップを身近なものとしていく。



多様性を理解した関係づくりができる

情報を適切に活用・編集・発信できる

本取組を通して吉川市が子供たちにつけたい力

学校外の人・もの・コトと積極的に繋がることができる

自分を肯定し主体的に行動できる

成　果

よく知る物語、昨今耳にする問題などを生成AIと絡ませることにより、子供たちにとって関心や意欲を高めての思考場面が設定できた。また、LMSを有効に活用することで、自分の考えと他者の考えを容易に可視化し、多面的に考える機会の創出ができる効果も実証できた。
さらに現実にゲスト等とのつながりから協働的な学びの厚みが増せた。

課　題

個別最適な学びで個々に学びを深める、協働的に学び合う、それぞれの場面で情報の真偽の見極め、さらに新たに生成AIとの向き合い方等のデジタル・シティズンシップに係る力の育成は喫緊の課題となる。まだ教職員が単体で指導することには不慣れであり、研修等でそのスキルを高めると共に、こうした実践を横展開し、情報、資料の共有化を図っていく必要がある。